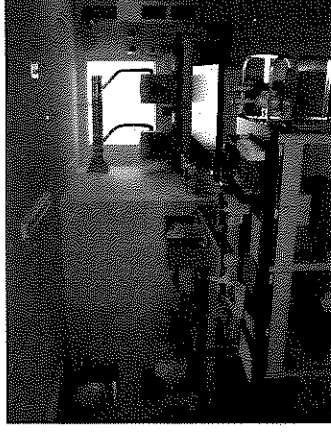
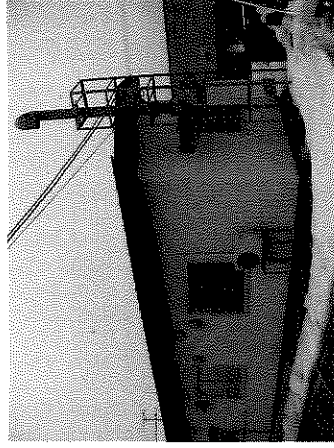


平成20年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）の実施状況について

20-1 あきた白神農業協同組合 分析診断施設一式

(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 あきた白神農業協同組合
- 地区名等 能代市・藤里町地区
- 整備施設 カドミウム分析診断施設一式
- 対象作物 水稻
- 事業費等 32,763千円
(うち交付金15,601千円)



(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値			成果目標の達成プログラム		
		計画時 (H19)	目標年(H22)	1年度目 (H20)	2年度目 (H21)	3年度目 (H22:目標年)	
産地競争力の強化に向けた総合的推進	米のタンパク値 (%)を低下	6.50%	6.20%	-	6.20%	6.20%	
	出荷数量に占めるカドミウム含有米発生率(0.4ppm以上)を削減	2.42%	1.21%	-	1.21%	1.21%	
				-	135.5%	171.1%	

※ 上段:計画 中段:実績 下段:達成率

(3) 事業の成果等

タンパク値の低下については、今後も地球温暖化傾向が予測される中、引き続き懸念される異常気象の変動に合わせた適正施肥設計の検討・普及・徹底指導を、普及指導センターと営農指導連携強化により図って行きたい。またカドミウム含有米発生率の削減については、湛水管理の徹底や肥培管理など、営農慣行を含めた様々な面で営農指導を今後も強化していく。食の安全保障確保のため、当施設を今後も最大限活用し、「良品質」「安全安心」なものが生産され、消費者ニーズにあった産地形成を目指していきたいと考えている。

平成20年度強い農業づくり交付金（原油高騰対策）の実施状況について

20-2 東部地区担い手集団 田植機

(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 東部地区担い手集団
- 地区名等 井川町 八田大倉地区
- 整備施設 田植機8条 1台
- 対象作物 水稻(14.0ha)
- 事業費等 3,100千円（うち交付金 1,033千円）



(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値		成果目標の達成プログラム		
		計画時 (H17～19平均)	目標年 (H22)	1年度目 (H20)	2年度目 (H21)	3年度目 (H22:目標年)
産地競争力の強化に向けた総合的推進	田植10a当たりの燃油使用量を削減	1. 70L	1. 13L	-	1. 13L	1. 13L
	田植10a当たりの労働時間を削減	3. 20時間	2. 80時間	-	2. 8時間	2. 8時間
				-	152.6%	161.4%
				-	2.22時間	1.18時間
				-	180.6%	325.0%

※ 上段：計画 中段：実績 下段：達成率

(3) 事業の成果等

燃油使用量の削減率については、ほ場整備による集積及び機械の燃費向上による効果で目標よりもかなり向上している。労働時間の削減率についても、導入当初は操作が不慣れであったにもかかわらず、機械の多条化や高速化、圃場の集積等により目標を達成し、操作の慣れた3年度目には、さらに計画的な作業により時間の短縮が図られた。

平成20年度強い農業づくり交付金（原油高騰対策）の実施状況について

20-4 門目協業生産組合 穀物遠赤外線乾燥機

(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 門目協業生産組合
- 地区名等 大仙市 角間川門目地区
- 整備施設 穀物遠赤外線乾燥機 50石 2台
- 対象作物 水稻(12.7ha)
- 事業費等 7,676千円（うち交付金3,837千円）



(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値		成果目標の達成プログラム		
		計画時 (H17~19平均)	目標年 (H22)	1年度目 (H20)	2年度目 (H21)	3年度目 (H22:目標年)
産地競争力の強化に向けた総合的推進	粍1t当たりの乾燥調製に要した燃油の使用量を削減 粍1t当たりの乾燥調製作業労働時間を削減	11.8L	9.1L	-	9.1L	9.1L
		2.10時間	1.89時間	-	1.89時間	1.89時間
				-	-298.5%	-277.8%
				-	1.38時間	1.52時間
				-	-16.7%	188.1%

※ 上段：計画 中段：実績 下段：達成率

(3) 事業の成果等

燃油使用量の削減については、天候等の影響により稲が倒伏し、水分が高い状態での乾燥調製となったことから、燃油使用量が増加した。
 今後は、水分の高い時期の稲刈りを避け、機械の操作マニュアルを遵守し、目標値を達成するよう努める。

平成20年度強い農業づくり交付金（原油高騰対策）の実施状況について

20-5（農）ニューファーム千畑 直播機

(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 (農) ニューファーム千畑
- 地区名等 美郷町 千畑地区
- 整備施設 直播機 8条 1台
- 対象作物 水稻(18.0ha)
- 事業費等 2,990千円(うち交付金 1,424千円)



(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値		成果目標の達成プログラム		
		計画時 (H17~19平均)	目標年 (H22)	1年度目 (H20)	2年度目 (H21)	3年度目 (H22:目標年)
産地競争力の強化に向けた総合的推進	田植10a当たりの燃油使用量を削減	1.05L	0.73L	-	0.73L	0.73L
	田植10a当たりの労働時間を削減	3.66hr	1.00hr	-	1.00hr	1.00hr
				-	3.27hr	0.33hr
				-	25.0%	122.1%

※ 上段：計画 中段：実績 下段：達成率

(3) 事業の成果等

燃油使用量の削減率については、直播機導入による効果と省エネマニュアルに基づく保守点検及び作業の実施により、目標値以下まで削減することができた。また、労働時間についても直播機導入の団地化等作業効率を改善した結果、目標値以下まで抑制することができた。今後も作業効率の向上を図るとともに、更なる燃油使用量の削減に努めたい。

平成20年度強い農業づくり交付金の実施状況について

20-12 かつの農業協同組合 選果機 (もも)

(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 かつの農業協同組合
- 地区名等 鹿角市花輪地区
- 整備施設 光センサー選果機 (1条2系列) 一式
- 対象作物 もも
- 事業費等 110,040千円 (うち交付金 52,400千円)



(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値		成果目標の達成プログラム		
		計画時 (H19)	目標年 (H22)	1年度目 (H20)	2年度目 (H21)	3年度目 (H22:目標年)
産地競争力の強化に向けた総合的推進	販路拡大分のうち、海外向けの出荷量を増加	0.3 t	1.0 t	0.5 t	0.6 t	1.0 t
	ももの販売金額を増加	62,979千円	152,000千円	105,000千円	132,000千円	152,000千円
				1050.0%	733.3%	100.0%
				11.7%	8.9%	23.1%

※ 上段：計画 中段：実績 下段：達成率

(3) 事業の成果等

台湾へ輸出を行っているが、現地で高い評価を得ているのでこれからも継続して出荷したい。

販売額については、開花期が遅れたことから果実肥大が下回る状況で、思ったより箱数が出なかった。今年は一部園地でモモハモグリガの被害が多発し、管内数ヶ所で収穫皆無の園地もあり、また、7月～8月の猛暑の影響で吸蛾類(ヤガ)の多発により果実被害が例年より多く見られ、収穫量に大きく響いた。

平成20年度強い農業づくり交付金（原油高騰対策）の実施状況について

20-13 (有) グリーンみなみ野 内張カーテン



(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 (有) グリーンみなみ野
- 地区名等 羽後町 三輪地区
- 整備施設 内張カーテン (空気膜二重被覆カーテン) 22a
- 対象作物 サンチュ
- 事業費等 1,995千円 (うち交付金 950千円)

(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値		成果目標の達成プログラム		
		計画時 (H17~19平均)	目標年 (H22)	1年度目 (H20)	2年度目 (H21)	3年度目 (H22:目標年)
産地競争力の強化に向けた総合的推進	燃油の使用量を30%削減	19,392 ^{リットル}	13,574 ^{リットル}	19,392 ^{リットル}	13,574 ^{リットル}	13,574 ^{リットル}
	供給量の減少割合を0%に抑制	3,096千枚	3,096千枚	60.0%	95.4%	102.4%
				3,096千枚	3,096千枚	3,096千枚
				2,961千枚	3,143千枚	3,144千枚
				78.2%	107.6%	107.7%

(3) 事業の成果等

燃油使用量の削減率については施設導入により過去3年間の平均より削減することができた。
供給量については割合を抑え、目標を達成することができた。

※ 上段：計画 中段：実績 下段：達成率

平成20年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）の実施状況について

20-14 (有) 大館ファーム ウィンドレス鶏舎

(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 (有)大館ファーム
- 地区名等 大館
- 整備施設 ウィンドレス鶏舎4棟 (1,094㎡×4)、管理棟他
- 対象作物 鶏卵
- 事業費等 872,529千円 (うち交付金 406,613千円)



(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目 標 値				成果目標の達成プログラム			
		計画時 (H18)	目標年 (H22)	1年度目 (H20)	2年度目 (H21)	3年度目:目標年 (H22)	1年度目 (H20)	2年度目 (H21)	3年度目:目標年 (H22)
産地競争力の強化に向けた総合的推進	採卵鶏100羽当たり労働時間を削減	0.292時間	0.207時間	0.207時間 0.310時間 -21.2%	0.207時間 0.265時間 31.8%	0.207時間 0.202時間 105.9%	0.207時間 0.265時間 31.8%	0.207時間 0.202時間 105.9%	0.207時間 0.202時間 105.9%
	飼料要求率の向上割合を増加	1.99	1.97	1.97 2.07 -400.0%	1.97 1.99 0.0%	1.97 2.05 -300.0%	1.97 1.99 0.0%	1.97 2.05 -300.0%	1.97 2.05 -300.0%

※上段:計画 中段:実績 下段:達成率

(3) 事業の成果等

鶏卵鶏100羽当たり労働時間の削減について、当初は新規農場に男性2人、女性1人の雇用予定であったが、作業内容の見直しにより、女性の雇用を1人減らし、男性3人への雇用に切り替え効率化を図り、計画を達成している。今後も継続して作業の効率化を図り労働時間の更なる削減に努めたい。

飼料要求率の向上割合の増加については、小さいサイズの卵への需要が高まっている最近の市場動向を見据え、飼料配合の変更等により小さいサイズの卵の生産拡大を図ったため、全体としては鶏卵の生産重量が減少したことによって、相対的に飼料要求率は増加した。目標を達成するため、今後も市場動向を注視しながら、需要に即したサイズの卵の生産拡大に向けた飼養管理技術の習得を図り、計画生産量の確保に努める。また、鶏舎内の適切な温度管理の徹底と飼料のこぼれ防止のための給餌設備の恒常的メンテナンス等により、適切な餌の給与に努める。

平成20年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）の実施状況について

20-15 (有) 大館ファーム 洗卵選別包装機

(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 (有) 大館ファーム
- 地区名等 大館
- 整備施設 洗卵選別包装機一式
- 対象作物 鶏卵
- 事業費等 274,363千円 (うち交付金 42,541千円)



(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値			成果目標の達成プログラム		
		計画時 (H18)	日標年 (H22)	1年度目 (H20)	2年度目 (H21)	3年度目: 目標年 (H22)	
産地競争力の強化に向けた総合的推進	受益農家の鶏卵生産量を増加	4,242t	9,326t	9,326t	9,326t	9,326t	
	鶏卵1t当たり労働時間を削減	6.76時間	4.35時間	4.35時間 6.89時間 -5.4%	4.35時間 6.79時間 -1.2%	4.35時間 6.21時間 22.8%	

※上段: 計画 中段: 実績 下段: 達成率

(3) 事業の成果等

受益農家の鶏卵生産量を増加については、小さいサイズの卵への需要が高まっている最近の市場動向を見据え、飼料配合の変更等により小さいサイズの卵の生産拡大を図ったため、全体としては鶏卵の生産重量が減少した。今後も積極的に産卵率の向上方法の研究を行うほか、飼養管理技術の習得に努め、今後鶏卵市場の主流になる小さい卵でも、計画値を達成できるだけの鶏卵生産を早急に確保するよう最大限の努力を行ない、目標達成を目指す。

鶏卵1t当たり労働時間を削減達成できなかった理由として、計画時より取引先が2倍近く増えるなど、販路は広がっているものの、商品ラベルの細分化などの要求が出されている。取引先ごとに異なるラベルを各サイズごと、出荷個数ごとに切り替えなければならず、作業が煩雑化したことにより、作業量が増加した。これに対応するため人員を増員したことにより、相対労働時間が増え、目標達成には至らなかった。目標達成へ向け、従業員の技術の習熟により作業効率の向上を図るとともに、作業機械のメンテナンスによるパフォーマンスアップと効率化を図り、労働時間の短縮に努める。

平成20年度強い農業づくり交付金(産地競争力の強化)の実施状況について

20-16 神岡ホールクropp生産組合 ロールベラー等

(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 神岡ホールクropp生産組合
- 地区名等 大仙市 神岡地区
- 整備施設 稲発酵粗飼料用ロールベラー 1台
自走式ラップマシーン 1台
- 対象作物 稲発酵粗飼料用稲(35ha)
- 事業費等 10,914千円(うち交付金 4,813千円)



(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目 標 値			成果目標の達成プログラム		
		計画時 (H19)	目標年 (H22)		1年度目 (H20)	2年度目 (H21)	3年度目 (H22:目標年)
産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料収穫・収集面積を増加	27.2ha	35.0ha		35.0ha	35.0ha	35.0ha
	飼料自給率を増加	57.2%	99.6%		99.6%	69.7%	99.6%
					239%	84.6%	230%
					46.2%	29.5%	92.0%

※ 上段：計画 中段：実績 下段：達成率

(3) 事業の成果等

飼料収穫・収集面積の増加に関しては、機械の追加導入により生産体制が強化されたこと、並びに戸別補償モデル対策事業による、交付金の増額等もあり耕畜連携が進み、目標を大きく上回る面積を確保することが出来た。飼料自給率の向上については、猛暑の影響もあり単収が思うように伸びず、目標数値を達成することが出来なかった。今後、当組合と神岡WCS利用促進協議会が連携し、耕種農家に稲発酵粗飼料用米の栽培マニュアル等の遵守を促し、単収を上げるための栽培技術向上を目指す。

平成20年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）の実施状況について

20-17 上野口粗飼料生産組合 ロールベレーラ一等

(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 上野口粗飼料生産組合
- 地区名等 大仙市 中仙地区
- 整備施設 ロールベレーラ一等1台、テッターレーキ1台
- 対象作物 牧草(13.0ha)
- 事業費等 4,100千円（うち交付金1,301千円）



(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値		成果目標の達成プログラム		
		計画時(H19)	目標年(H22)	1年度目(H20)	2年度目(H21)	3年度目(H22:目標年)
産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作付面積を増加	10.7ha	13.0ha	13.0ha	14.7ha	14.7ha
	単収を増加	2.4t/10a	2.8t/10a	2.8t	2.8t	2.8t
				2.3t	3.1t	3.1t
				17.4%	173.9%	173.9%
				-25%	175.0%	175.0%

※ 上段：計画 中段：実績 下段：達成率

(3) 事業の成果等

高効率機械の導入により労働力が大幅に軽減され、また構成員の集積推進の活動により飼料作付が増加し目標面積が達成された。また、草地の更新や機械導入による適期作業等により収量の増加が図られ、単収も増加した。構成員である畜産農家にとつて自給飼料の確保が飼料費の低減につながり経営的にも大きな効果があった。

平成20年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）の実施状況について

20-18 田中飼料生産組合 稲発酵粗飼料用ロールベラー等



(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 田中飼料稲生産組合
- 地区名等 横手市 平鹿地区
- 整備施設 稲発酵粗飼料用ロールベラー1台 自走式ラップマシン2台
フロントローダー1基 バールグラブ1基
トラクター用動力部品1式 自走式マニユアスプレッタ1台
- 対象作物 飼料用稲(17ha) 肉用牛(235頭) 乳用牛(350頭)
- 事業費等 16,445千円(うち交付金 7,012千円)

(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値		成果目標の達成プログラム		
		計画時(H19)	目標年(H22)	1年度目(H20)	2年度目(H21)	3年度目(H22:目標年)
産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料収穫・収集面積を増加	0ha	17.0ha	17ha	17ha	17ha
	受託農家戸数を増可	0戸	5戸	5戸	5戸	5戸
				155.3%	140.6%	125.9%
				100.0%	100.0%	120.0%

※ 上段：計画 中段：実績 下段：達成率

(3) 事業の成果等

稲WCS収穫機械の導入により、収集面積及び受託農家戸数を計画以上増加させることができ、地域内粗飼料の有効活用が図られた。今後も畜産農家と耕種農家の需給バランスの調整を図りながら取り組んでいきたい。

平成20年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）の実施状況について

20-19 横手西部WSC生産組合 稲発酵粗飼料用ロールベラー等

(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 横手西部WSC生産組合
- 地区名等 横手市 十文字地区
- 整備施設 稲発酵粗飼料用ロールベラー1台
自走式ラップマシーン2台
- 対象作物 飼料用稲(30ha) 肉用牛(550頭)
- 事業費等 12,285千円(うち交付金 5,133千円)



(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値			成果目標の達成プログラム		
		計画時 (H19)	目標年 (H22)	1年度目 (H20)	2年度目 (H21)	3年度目 (H22:目標年)	
産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料収穫・収集面積を増加	23.0ha	30.0ha	30ha	30ha	30ha	
	受託農家戸数を増加	0戸	5戸	5戸	16戸	31戸	
				420%	554%	236%	
				160%	320%	620%	

※ 上段：計画 中段：実績 下段：達成率

(3) 事業の成果等

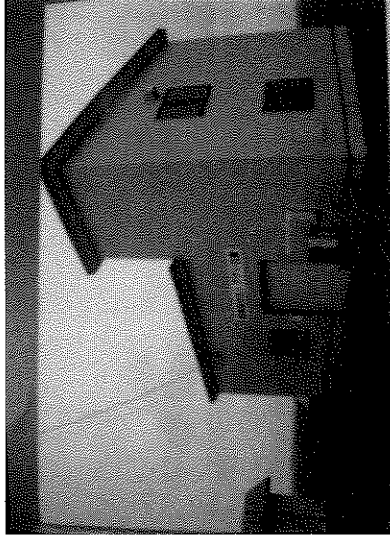
稲WSC収穫・収集面積及び受託農家戸数は、機械設備の充実により増やすことができた。耕種農家の作付動向は国の農業政策に左右されやすい状況にあるが、畜産農家・耕種農家双方と連携し受託農家戸数を増やし、安定供給に繋がってほしい。

平成21年度強い農業づくり交付金（集落営農育成・確保緊急整備支援）の実施状況について

21-1 農事組合法人アグリ白藤 集出荷施設・乾燥調整施設

(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 農事組合法人アグリ白藤
- 地区名等 横手市 上藤根地区（旧平鹿町）
- 整備施設 集出荷施設・乾燥調整施設 1棟 92.54㎡
乾燥機 1台 60石
- 対象作物 水稻(16.08ha) 大豆(7.89ha) 野菜(3.46ha)
- 事業費等 12,510千円（うち交付金 5,957千円）



(2) 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値		成果目標の達成プログラム	
		計画時 (H20)	目標年 (H22)	1年度目 (H21)	2年度目 (H22:目標年)
経営力の強化	農用地利用集積面積の増加	24.14ha	27.43ha	25.34ha	27.43ha
	農地利用集積率の増加	82.7%	93.9%	88.4%	92.9%
農用地利用集積面積の うち連坦地面積の増加	農地利用集積率の増加	139.0%	91.1%	139.0%	91.1%
	農地利用集積率の増加	24.50ha	26.55ha	24.88ha	26.12ha
		205.5%	82.2%	205.5%	82.2%

※ 上段：計画 中段：実績 下段：達成率

(3) 事業の成果等

農用地利用集積面積については目標に対し0.29ha下回り、9割を超える達成率となっている（農地利用集積率も同様）。連坦地面積については目標に対し0.43ha下回り、8割を超える達成率であるが、引き続き、農作業の効率性の図るため、連坦地の促進に務める。